

年 組 名前：

大月・猿橋小 琴演奏で日本文化に触れる

猿橋小に「お箏クラブ」が発足したのは2004年。琴を指導する資格を持った教員が赴任してきたのが、きっかけだった。当時の校長の「外国の文化を知ること

がある。猿橋小に「お箏クラブ」が発足したのは2004年。琴を指導する資格を持った教員が赴任してきたのが、きっかけだった。当時の校長の「外国の文化を知ること



地域で披露 交流生む

- ・所在地
大月市猿橋町伊良原48
- ・全校児童
225人
- ・創立年月
1874年11月
- ・学校教育目標
思いゆたかに学びを拓(ひらく)

同様に、自国の文化にもしつかり触れてほしいという思いもあり、創設につながったという。和楽器店から琴を数多く譲り受け、ホールに常備された。

例年、披露する機会が3回ほどある。26年度も、地域行事のあじさい祭りを皮切りに、地域住民や保護者への学校開放日と、年度末の音楽集会で演奏する。本番が近づくと、朝や昼休みにも時間を見つけて練習する。最上級生の金井心咲さん(6年)は「本番でも緊張はしない。当日が楽しみ」と笑顔。

26年度のメンバーは12人いて、

4、5年生が各5人、6年生が2人。指導して13年目の講師橋本政江さんは「みんな初めての子。でも吸収のスピードは早い」と振り返る。取り組み曲は校歌からポツプスまで幅広く、1年間で複数の曲を演奏できるようにするという。26年度担当の柴北みどり教諭は「爪の付け方や演奏など、先輩が下級生に教えている。自主性も出てきた」と目を細める。

クラブ長の6年原田依緒菜さんは「練習の時には『やるよ!』と声をかけるなど、みんながまとまるようにしている。琴は、みんなで合わせてやるのが楽しい」と話す。北畑貴美教諭は、クラブが持つ意義を強く感じているという。「地域行事への参加を通じ、地域の皆さんに発信して接する機会を持つことにも大きな意味がある。これからも長く続いてほしい」と期待している。

〈竹川元久〉
11月第1、3土曜日に掲載します

(2026年6月20日付 山梨日日新聞 17面)

問1 猿橋小の「お箏クラブ」は、「あじさい祭り」に向けて、琴の練習に励んでいます。

このクラブの創設には、当時の校長の、どのような思いが込められていますか。

.....

問2 クラブでは、どのような曲を練習していますか。

.....

問3 あなたが知っている琴以外の和楽器を、たくさん書いてください。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.